

平成 20 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	備考
	<p>一般県道 広滝大和富士線 地域自立・活性化 交付金事業</p> <p>事業主体：県 事業地：佐賀市大和町 松瀬</p>	<p>本路線は神崎市脊振町広滝と、佐賀市大和町を經由して、富士町を結ぶ道路であり、生活圈都市間を結び、交流を支えるために必要な道路である。</p> <p>付近に松梅小学校があり、通学路に指定されている。</p> <p>現道は、幅員が狭く、線形も悪く、歩道も無いことから、現道拡幅及び自転車歩行者道を整備することにより交通の円滑化と交通安全の確保を図る。</p>	<p>全体事業費：18.1億円</p> <p>工期：H8～H24</p> <p>事業内容 延長 L=1,600m 幅員 W=11.0(6.0)m</p> <p>改良工 L=1,528m 橋梁工 2橋(L=72m) 舗装工 L=1,600m 测试 1式 用地補償 1式</p>	<p>H19末進捗率：約85% (事業費ベース)</p> <p>(年平均進捗率 7%)</p> <p>用地補償は全て完了</p>	<p>交通量の増減 [H6] 1,001台/日 [H9] 1,370台/日 [H11] 1,075台/日 [H17] 1,106台/日 歩行者 13人/日 自転車 22台/日</p> <p>一般国道263号の三瀬トンネル有料道路のループ橋が開通したことにより、交通量の増大が予想される。</p>	<p>事業採択時と比較して、要因の大きな変化は見られない。</p> <p>B/C = 1.5</p>	<p>(コスト削減) ・再生資源の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。</p> <p>(代替案の検討) ・特になし</p>	<p>事業着手より10年が経過</p>	<p>継続 (理由) 危険な状況が解消されておらず、用地補償は全て完了しているため、事業を継続し交通の円滑化を図る。</p>	

